

【保護者向け】H30年度 児童発達支援事業評価表（児童発達支援センター仙台市サンホーム）

配布数45枚 回収数39枚（回収率86.7%）

		チェック項目	はい (%)	どちらとも いえない (%)	いいえ (%)	わからない (未記入) (%)	ご意見	改善案
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	26 (66.6%)	12 (30.8%)	1 (2.5%)		<ul style="list-style-type: none"> もう少し広いとより良い。 走ってぶつかることもあり、もう少し広くてもいいのかな。 もう少し広いスペースを確保してほしい。「のびのび」には程遠い。 人数にもよる。朝の自由遊びは特に狭い。 人数が多いときは大人も多くなるのでどうしても狭く感じる。 全員出席すると圧迫感を感じる。 人数が増えると狭く感じる。(2) 子どもにはスペースはあるが付き添いの大人のスペースは狭い。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育スペースのハード面の改善は困難ですが、全館のスペースを有効に使う工夫や、ソフト面のプログラム等の工夫を行い、質を低下させずにより良い療育を行うよう努めます。 個別面談や地域からの相談などに使用するプライバシーを確保できる場所がないため、療育時間内に並行しての相談は難しい現状にあります。センター化に伴い、相談件数が増加する可能性を踏まえ、仙台市に相談室の設置を要望しています。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	27 (69.2%)	6 (15.4%)	3 (7.7%)	3 (7.7%)	<ul style="list-style-type: none"> 1日3クラスに増えたとき先生方の手が回らず大変そうに見える。活動自体に支障はないが余裕がなくなった。 出席している子どもの人数で先生もかわるが、いつも誰かサポートしてくれている。 努力しているとおもう。 もう少し人数が多いと嬉しい。 人員配置数を増やしてほしい。 1対1に近い人数だと良い。 専門家が常に観察、アドバイスができる状態がほしい。 親が気づかないことも気づいてくれる。 	<ul style="list-style-type: none"> お子さんの特性や発達の状況（母子分離の難しい時期）で、1対1での支援を要することも多く、活動状況と人員体制を踏まえ柔軟なスタッフ配置で臨んでいます。 また、きょうだい児支援については別の部屋を用意し、子育て経験者や福祉等を学ぶ学生ボランティアに係ってもらうことを検討しています。 作業療法士や看護師等の専門職については、後期のクラス増設に伴いクラス担当要員としての業務も余儀なくされる場合もありますが、可能な限り全クラスに専門職として携われるよう配慮いたします。
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境 ¹ になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	30 (76.9%)	5 (12.8%)	4 (10.3%)		<ul style="list-style-type: none"> 限られた空間でよく考えられている。（朝の身支度の流れや歯磨きのスペース、動きのある遊び、静かな遊びなど）・細かくパーティションで区切っていて、とてもわかりやすい。子どもも「〇〇してからとりに行ける」という区別がしやすい。 できればですが、冬はカーペット等があれば嬉しい。 入り口付近のスペースが少ないため出入りの際に渋滞がおきて入りにくい。 1日の流れがわかるよう配慮や指示があるので本人もわかって過ごせている。 朝の身支度スペースが狭く、準備がしにくい。子どもへも上手く伝達できない。 朝の身支度の場所が狭く、ゆっくり支度することができないことがある。待っている子がいると焦ってしまう。 様々な障害の特性を仮定した設備とは言えない。この点からも支援センターが発展途上であることが伺える。 	<ul style="list-style-type: none"> 限られたスペースを効果的に使い、構造化や情報伝達の工夫を試みっていますが、個々の特性に基づく合理的配慮を整備した空間の実現には至っておりません。今後、職員の障害特性理解と合理的配慮へのスキルを育み、一人ひとりのお子さんにとって「わかりやすく」「こころよく」「合理的配慮が行き届いている」療育環境をめざしてまいります。 なお、限られた空間での療育には、プログラムで使用しない遊具等の収納が不可欠です。収納場所の設置および療育室のバリアフリー化については、引き続き仙台市に改善を求めてまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	36 (92.3%)	1 (2.6%)	1 (2.6%)	1 (2.6%)	<ul style="list-style-type: none"> トイレもきれいで本人も親も安心。トイレトレーニングに繋がっている。 とてもきれいだと思う。(2)先生方もこまめに除菌してくださっている。 とても清潔でうれしい。「いつもありがとうございます。」 清潔、心地良いと感じる。しかし、子ども達と遊ぶ空間は狭く感じる。子どもによっては近すぎてストレスを感じるかもしれない。 まだ自立歩行ができない子どもにとって冬の床の冷たさが気になる。 活動にあわせてパーティションをしたり工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 安全衛生や快適な空間等に配慮した清潔・整頓を心掛けていますが、子どもの入退園の入り口の段差解消工事や収納スペースが少ないこと等のハード面での課題は重いものがあります。避難経路の確保の為に倉庫等を確保して安全な環境を整備できるよう、仙台市に働きかけていきます。 床の冷たさにつきまちは、冷たさを緩和できる敷物やホットカーペットの追加等を検討します。
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画 ^{II} （個別プログラム）が作成されているか	38 (97.4%)	1 (2.6%)			<ul style="list-style-type: none"> きちんと子どものこともみてくれている。 日々変わる成果や様子に合わせてお話ししていただき、発達支援していただいている。 先生方も一生懸命、ニーズと課題を聞き取りながら調整している。 わかりやすく書面にしてくださり説明もしていただいた。 課題と計画をわかりやすく示していただいた。 	<ul style="list-style-type: none"> 現在は職員にアセスメント研修を実施し、一人ひとりの状態像を把握したうえで、家族ニーズを取り入れて支援計画を作成しています。今後、標準化されたアセスメントツールでの客観的分析も採り入れることを検討していきます。
	6	児童発達支援計画には、具体的な支援内容が設定されているか。	36 (92.2%)		1 (2.6%)	2 (5.1%)	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの成長に合わせた支援が考えられている。 設定されているとは思いますが実際の活動がどれにあたるのかといった情報を感じ取れない。 支援に関しては先生方の目配りのすばらしさに感謝するばかり。 	<ul style="list-style-type: none"> 個別支援計画作成時の面談において、具体的な支援内容について提案し了解いただいています。今後さらにご家族への詳しい説明に努めます。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	34 (87.2%)	4 (10.2%)	1 (2.6%)		<ul style="list-style-type: none"> 苦手なことでも少しずつの内容を考えてくださっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 個別支援計画に沿ってプログラムを設定し、日々の療育をすすめています。具体的な支援内容との関連性についてご家族に説明するよう、改善します。

【保護者向け】H30年度 児童発達支援事業評価表（児童発達支援センター仙台市サンホーム）

配布数45枚 回収数39枚（回収率86.7%）

		チェック項目	はい (%)	どちらとも いえない (%)	いいえ (%)	わからない (未記入) (%)	ご意見	改善案
適切な 支援の 提供	8	活動プログラムⅢが固定化しないよう工夫されているか。	27 (69.2%)	9 (23.1%)	1 (2.6%)	2 (5.1%)	<ul style="list-style-type: none"> ルーティンがわかるように身につくように固定化しているところもあり、子どもも覚えることができています。 いつも違う遊びでできています。子どもも楽しみにしている。 短い期間の通園ということもあり、固定化などわからない。 毎回同じ体操だったり、行く場所が同じだったりするので少しあきてきた。 一年を通じてもう少し発展してもよいのではないか。 入園から間もない為「どちらともいえない」 	<ul style="list-style-type: none"> 活動のプログラムは、集団活動の中でも個別性を考慮して組み立てています。また繰り返しの遊びの中で、先の見通しがわかって安心して集中できたり、遊び方の変化を発見できたり、繰り返すことで成功体験をして自信に繋がったりと効果的な側面もあります。遊びのもたらす可能性やねらいを、ご家族にもっと丁寧に説明して、さらに理解が浸透していくよう努力いたします。 また月毎に季節に応じた遊びを設定し、多様な体験の機会を提供しています。
	9	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	38 (97.4%)	1 (2.6%)			<ul style="list-style-type: none"> 通園が決まった際に説明があった。 丁寧に説明いただいた。すべてにおいてですが小さなことでもきちんと説明し、いろいろアドバイスしてくれる。 	<ul style="list-style-type: none"> 担当職員が更に分かりやすく丁寧に説明する努力をいたします。
保護者への説明等	10	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	38 (97.4%)	1 (2.6%)			<ul style="list-style-type: none"> 子どもの様子をよくみているという説明があった。 丁寧に説明いただいた。 	<ul style="list-style-type: none"> 担当職員が更に分かりやすく丁寧に説明する努力をいたします。
	11	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの健康や発達の状況、課題について共通の理解ができていますか	32 (82.0%)	5 (12.8%)	1 (2.6%)	1 (2.6%)	<ul style="list-style-type: none"> その日の最後に振り返りがあり、とてもよかった。 子どもの発達の状況、様子をよくみてくれている。 毎回家庭での出来事、週末や休暇の過ごし方等聞いてくれる。 話す時間が足りないため、話すタイミングがずれたり言いそびれることがある。 先生と話せず、1日が終わることもある。他のお母さんと話していると話しかけづらい。 	<ul style="list-style-type: none"> 療育中は子どもへのかかわり方等について一緒に考え、提案しています。個別の振り返りについては、個別面談やクラス懇談を通して実施しています。これからも保護者の何か話したい雰囲気や体調不良を早期に察知し、積極的にスタッフ側から声掛けを実施していきます。
	12	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	34 (87.2%)	3 (7.7%)		2 (5.1%)	<ul style="list-style-type: none"> 自分とはまた違った視点からの助言があり、気づきがあり、ありがたい。 とても気にかけてくれている。 面談の回数ももう少しあるとうれしい。なかなか話せる時間がない。 月1回位のペースで個別面談をしてもらえると個人的に相談しやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 日々のプログラムにおいて、お子さんの変化や成長を伝え実感していただく機会の提供を何よりの支援ととらえています。なお定期面談以外にも必要時に個別の面談が受け付けられる環境整備に努めていきます。
	13	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	34 (87.2%)	4 (10.2%)	1 (2.6%)		<ul style="list-style-type: none"> 毎回ブレイク（母子分離タイム）やレモンの会を楽しみにしている。 支援をする努力は見られたが送迎など手が回らない部分があり、改善を希望する。 積極的な連携とまではいかない。過度な連携も先生方の業務に影響が出ると思っている。今のままでちょうど良いと感じる。クラス内では保護者と親密になれたが、クラス外での交流は少なかった。でもクラス内でも十分満足した。 	<ul style="list-style-type: none"> 在園児の保護者会はもとより、卒園児の保護者会への継続支援を実施し、先輩パパ・ママの体験談による情報交換会はなくてはならない支援プログラムに位置づけられています。今後も、保護者の主体的な活動運営を尊重しつつ、出来る限りのバックアップをさせていただきます。
	14	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	32 (82.1%)	4 (10.2%)		3 (7.7%)	<ul style="list-style-type: none"> 母子分離の時間をもっと増やしてもらえたらと感じた。先生や他のお子さんとお過ごすることで普段見られない姿を見ることができた。子どもにあった伝え方・教え方を先生からどんどん教えていただきたい。 丁寧に迅速に動いている。こちらの申し入れの前に対応していただいたこともある。 園内で共通の認識がされており、話しをしやすかった。もう少し時間に余裕があるとよい。 相談や申し入れは担当者のみで伝わっているのか。どこまで伝わっているかわからない。（内容により一人ひとりに話さなければならぬのか、逆に伝わってほしくないものもあったりして・・・） あまり相談や申し入れをしたことがないのでわからない。 	<ul style="list-style-type: none"> 相談やクレームの受付窓口は館内に掲示し、対応体制を明記しています。また、苦情に対しては迅速に対応致します。 クラスの話し合いや個別面談で頂いたご意見は、全職員が共有し、課題項目であれば検討して改善しています。 必要時の個別面談の受け入れについては、改善の為の工夫や環境整備を検討します。 なお、お子さんからの相談等に関しては、療育時に何らかの変化や必要を感じて支援者が問いかけることでの意思の表出に対応している現状です。
	15	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	34 (87.2%)	3 (7.7%)		2 (5.1%)	<ul style="list-style-type: none"> 配布物は個別に分ける等配慮されている。 時々子どもが困っていたり呼びかけているのに聞いていないときがある、人数がおおければと思う。専門家がいるとどう対応するか気になる。 	<ul style="list-style-type: none"> お子さんとの意思疎通については、個々の意思伝達方法やツールを選び、保護者と共有してすすめています。療育中の子どもへの呼びかけに対する支援者の適格な対応について、改めて職員間で共有し改善します。 また保護者との意思疎通や情報交換は通信や個別伝達メモ等の工夫をしています。
	16	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	32 (82.1%)	3 (7.7%)		4 (10.2%)	<ul style="list-style-type: none"> 業務に関する自己評価は書面ではないものの前回の失敗などを次回に生かすといった変化が見られた。 	<ul style="list-style-type: none"> アンケート結果の公開はこれまで通り館内に設置して実施しますが、加えて今期よりホームページでも公開します。
	17	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	35 (89.8%)	2 (5.1%)		2 (5.1%)	<ul style="list-style-type: none"> しっかりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報保護については職員にはマニュアルと研修にて注意を促しています。また保護者に関しては契約時に個人情報保護に関連した説明と限定使用への承認を頂き、業務を遂行しています。

【保護者向け】H30年度 児童発達支援事業評価表（児童発達支援センター仙台市サンホーム）

配布数45枚 回収数39枚（回収率86.7%）

		チェック項目	はい (%)	どちらとも いえない (%)	いいえ (%)	わからない (未記入) (%)	ご意見	改善案
非常時等の対応	18	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	25 (64.1%)	4 (10.2%)	1 (2.6%)	9 (23.1%)	<ul style="list-style-type: none"> ・予告のない訓練もありよかった。 ・訓練の日に早退したのでわからない。 ・入所して2ヶ月程度のため訓練はまだしていない。 ・短期間の通所でしたので実施はなかったが緊急時の避難場所は説明していただいた。 ・緊急時、防犯は完璧とまではいかないまでも考慮されている。 ・短期間しかいないので何ともいえないがインフルエンザ時の警告いただき助かった。 ・感染症がよくわかりません。前日38度以上熱があったが、翌朝下がったから連れてきたというママさんから話を聞くがそれでよいのか？病名がついているときだけ休みなのか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで、マニュアルに沿って緊急時対応や避難訓練を実施してきましたが、職員への周知・対応が中心になっていました。2019年度は事業所の重点取り組み課題に位置付けてマニュアル類を見直し、保護者にも周知できるよう改善します。
	19	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	26 (66.7%)	4 (10.2%)	1 (2.6%)	8 (20.5%)	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもだけや親と子が離れているなど、いろいろなパターンを月1くらいで行われている。 ・形式的なものだったので実際にいかせるかはわからない。 ・年度途中から入所したためよくわからない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体験の積み重ねが、緊急時のスムーズな避難行動に繋がりますので、今後も定期的な避難訓練を実施します。
満足度	20	子どもは通所を楽しみにしているか	37 (94.8%)	1 (2.6%)		1 (2.6%)	<ul style="list-style-type: none"> ・最近サンホームの駐車場に入ると手を叩いて喜んでくれる。 ・休日でもサンホームに行きたいと訴えてくる。 ・お弁当作りをみたり、「サンホーム」いくよというふうにすぐに準備を始めるので楽しみにしている。 ・毎日楽しみにしている。(2) ・設定遊びや皆んなでの遊びも含め、とても楽しんで通所している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・療育は継続することが大切ですが、まずお子さんが「通いたい場所」になる”はじめの一歩”を大切に努力します。 ・なお、お子さんが通所を拒んだり、ご家族が通所に疲れたり、大変感を感じる事等がありましたら、ご相談下さい。
	21	サンホームの支援に満足しているか	35 (89.7%)	3 (7.7%)	1 (2.6%)		<ul style="list-style-type: none"> ・とてもよく理解してくれている。満足。 ・大変満足している。 ・初めてする遊びも多く、いろいろな遊びができて満足している。 ・今後幼稚園に進むための支援を提案いただき感謝している。 ・先生の一生懸命な姿に感謝している。 ・子どもも親も沢山フォローしていただき、気持ちもとても楽になり、子どももできることが増えてきた。 ・いつもありがとうございます。今はとてもよくしていただき満足。強いていえばの意見を書かせてもらった。よろしく願います。 ・通所回数を増やしてほしい。幼稚園等との併用ができるようになってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・通園回数については、仙台市障害児施設連絡協議会においても課題となっており、今後はご家庭の事情やお子さんの発達状況などを踏まえ、関係機関と協議して柔軟な対応が可能になるよう検討してまいります。 ・“改善提案が遠慮なく言えるサンホーム”をめざしています。私たち(保護者・サンホーム職員等)はお子さんを真ん中にしたチームです。率直にご意見を寄せてください。

(注釈)

I 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするかを示せるように、朝の身支度や遊びのスペースをパーテーションで区切るなど、子ども本人にわかりやすくすることです。

II 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは児童発達支援センターの児童発達支援管理責任者が作成します。

III 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等にに応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

以上